

「野田検定（仮称）」実施プロジェクト企画書

2016年6月18日

コーディネーターズ・のだ 大澤一秋

1. 目的

自分の住んでいるまち（市）を知ること、好きになることは、まちを豊かにし、賑わいのあるまちに、盛り上げる力を創生するのです。市民のそれらの力の向上とひいてはまちづくりにつなげることを目的に「野田検定（仮称）制度」の制定と定期的な実施を市民の力で行う。

2. マイルストーン

フェーズ1 : 平成29年3月末まで

①「野田検定問題集（仮称）」の作成

フェーズ2 : 平成29年9月末まで

①「野田検定問題集（仮称）」のネット公開・出版・配布

②「第一回野田検定（仮称）」の予告広報

③「第一回野田検定（仮称）認定制度」の制定

フェーズ3 : 平成30年3月末頃

①「第一回野田検定（仮称）」の実施広報

②「第一回野田検定（仮称）問題」の作成

③「第一回野田検定（仮称）」の実施・認定

3. フェーズ1：「野田検定問題集（仮称）」作成に向けた取組

①体制

「コーディネーターズ・のだ」の有志と一般から目的に賛同する有志を募る。

②作業

分野毎の分担による問題と回答解説作り。

4. 「野田検定問題集（仮称）」の構成案（出題分野）と問題数

以下に示す中項目あたり30問程度の問題・答え（四択）・解説を作成する。

内容は、あまりにもマニアックなものは避ける。

野田紀行や野田市史など野田市発行の著作物（著作権フリー）から問題を抽出。

項番	大項目	中項目
1	自然・地理	樹木・草花・生き物
2		河川・公園
3		地理
4	歴史	原始・古代
5		中世
6		近世
7		近現代
8		伝説・石造物
9		神社・寺院
10	文化・暮らし	教育
11		文化・暮らし
12		農・商・工業
13		イベント・その他

5. 資金

「夢まるファンド」などの基金からの補助金を申請（検討要）。

※1,000冊（200ページ）印刷すると100万円かかる。

6. 問題集の扱い

市内の図書館、公民館、子供館、小中高校図書館などに納本。

市長、議員に寄贈。

その他、市民に無料配布または有料販売、PDF版の無料公開を行う。

以上